



桂小五郎と幾松の生活を偲ぶ貴重な品々と逸話が残る幾松の部屋。

料亭 幾松

桂小五郎と幾松のロマンスは、殺伐とした幕末に咲く麗しい花。有形文化財にも指定されているこちらのお店は、二人の寓居跡として京都に残された由緒ある旧蹟旅館のひとつです。鴨川を望む「幾松の部屋」には、動乱期のエピソードとともに145年前の二人の生活と幕末の面影を色濃く残した貴重な品々が随所に残されていて、遠い時代へと誘ってくれます。ご縁つなぎにと、丁寧な解説によってお部屋を案内していただけるので、貴い文化を感じながら当時は偲んでみるのも趣深いのでは?美しい京の「おもてなし」の心をそのままに、灯篭や送り火、提灯の儂くも温かな灯に包まれていただく色鮮やかなお料理とみそそぎ川からそよぐ薫風は、これからも変わらず京都の夏を彩ります。

一度は訪れてみたい
歴史的情緒溢れる老舗料亭



☎075-231-1234 MAP→P15参照
京都市中京区木屋町通御池上る上樵木町497番
昼11:30~14:30(13:30ラストオーダー)
夜17:30~22:00(19:30ラストオーダー)
無休 ※お昼の床は5月・9月のみ



床DATA
昼 5,500円~
夜 14,000円~
要予約

食通たちを満悦させる
心づくしの京料理



京料理 梅むら

かの名宰相、伊藤博文も愛したというこちらのお店は、昔ながらの情緒を今に伝える老舗。風通しの良いお座敷と開放感のある床では、美しいお料理を堪能できます。月2回変わるお料理は、鱧や鮎、京野菜をふんだんに使った懐石で食通たちを唸らすのは当然。苦手な食材については臨機応変に対応してくれます。

床DATA
昼 6,500円~
夜 13,000円~
要予約

☎075-231-3383 MAP→P15参照
京都市中京区木屋町三条上ル上大阪町515-1
昼11:30~14:00 夜17:00~22:00
無休 ※お昼の床は5月・9月のみ



Special Edition



ひんやりほっこり

納涼床特集

京の街が深緑で染まる頃、鴨川のせせらぎに向かって並ぶ木組みの床。古き時代から四季を愛でた都人の美しい文化が甦ります。京料理、中華、イタリアンからフレンチ、カフェまで——。水面を見下ろしながらいただくお料理は、心まで涼やかにしてくれます。おいしい料理に舌鼓を打ちながら、この夏、ちよっぴり粋な京情緒を満喫してみませんか。



☎075-221-1735 MAP→P14参照
京都市中京区先斗町四條上ル鴨川畔
17:00~21:30(21:00ラストオーダー)
日曜休み(日曜が祝日の場合は営業、翌月曜代休)

京料理 都

祇園町と並ぶ花街として知られる先斗町。お茶屋さんが立ち並ぶ小路を「鴨川千鳥」の提灯がいつそう賑わいを添えます。古き良き京都の文化を受け継いだ町並みの一角にお店を構える「都」。こちらの床でいただけるのは鱧や鮎に加え、毎日変わるお料理。その時々に合わせて仕入れた素材を生かしたひと品ばかりです。慎ましく心地よいおもてなしで、ほっこりとしたひと時を楽しめます。



床DATA
夜 9,960円~
要予約



旬の素材を生かした四季折々の京料理



味はもちろん見た目にもこだわったうなぎの蒸し寿司は竹島ならではの逸品。

京情緒豊かな上木屋町でいただく
華やかな京会席と「おもてなし」の心。



割烹 竹島

京都らしい閑静な風情を今に残す上木屋町。石畳の奥にひっそりとした佇まいを見せるこちらのお店では、素材にこだわった、見た目にも華やかな京会席の数々が味わえます。また竹島ならではの「うなぎの蒸し寿司」は、竹の皮に包まれていて、目でも楽しめるようにとの料理人の心遣いが溢れています。敷居が高いと思われがちな床ですが、若い方にも気軽に床を楽しんでもらえるメニューもあり、床デビューにはもってこい。



☎075-256-2550 MAP→P15参照
京都市中京区木屋町御池上るアイル竹島1F
昼11:30~14:00(13:30ラストオーダー)
夜17:00~22:00(21:00ラストオーダー)
火曜休み ※お昼の床は5月・9月のみ

床DATA
昼 2,940円~
夜 6,300円~
要予約



絹鳴り帯締め 藤
3,900円(税込)



伊勢木綿浴衣 木枯らし紋次郎
27,000円(税込)



甚平 綿麻 間/黒×納戸色
19,800円(税込)

和の装いで床を楽しもう！
夏のおでかけを楽しくしてくれるゆかた。最近では夏のファッションとして、ゆかた姿でおでかけする人たちが増えています。ゆかたに合わせる和装小物もたくさんあって、いろんなコーディネートを楽しめるのも魅力。今年の夏はお気に入りの一枚で、爽やかに床を楽しもう！

商品のお問い合わせは
SOU・SOU作務衣

☎075-213-2526 MAP→P24 K-10参照
京都市中京区新京極通四條上ル二筋
目東入ル二軒目P-91ビルB1F
11:00~20:00 無休



がま口(大) KI-KU-SU-I
2,900円(税込)



会津焼下駄 手描き小町
21,000円(税込)



MIW×SOU・SOU焼下駄
蛇柄 6,930円(税込)

おもてなしの心

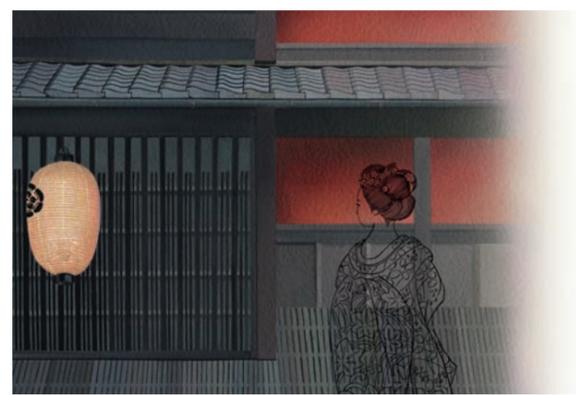
古き良き京都の風情やおもてなしの心を受け継ぐ現代の納涼床。陽が傾くに連れ、山の緑が深くなり、空が藍色へと移り行く「時の移ろい」を楽しめるのも床ならではの味わいです。しかし時として急な雨に見舞われることも。そんな時のために、お店側は床の時期、あえてお座敷に客を入れずに空けておいて、いつでも対応できるようにしているのです。もてなす側の粋な心遣いが垣間見えます。

納涼床とは？

千二百年に渡る京の歴史に親しまれながら文化と芸術を育んできた鴨川。その伝統的文化のひとつに京の夏の風物詩とも云える鴨川納涼床があります。その起源は江戸時代と古く、裕福な商人が夏に遠来の客をもてなすために鴨川の浅瀬に床几を置いた事に始まります。三方を山に囲まれた京都盆地。夏の暑さをしのぐため、都人の知恵はその後、茶店や屋台の出現など様々に形を変え、京都の夏の魅力として今も受け継がれています。現在では5月1日から9月30日までの期間、開かれる納涼床。5月は「早月の床」、6月〜8月は「本床開き」、9月は「後涼みの床」と呼ばれ、人々に親しまれています。

幕末のエピソード

倒幕運動盛んな幕末。そんな激動の時代の舞台となった京都には、維新志士に縁深い場所が多く、数々の逸話が残っています。なかでも倒幕運動に大きな役割を果たした桂小五郎と芸妓であった幾松との美談は有名で、今も語り継がれています。新撰組の近藤勇が桂小五郎の居場所をつきとめ、幾松の部屋に押し入ったとき、幾松は桂小五郎を守るため、彼を長持の中に隠し、気丈にも一人で近藤勇に対峙して助けたと伝えられています。その後、桂小五郎は命の恩人である幾松と結婚し、大きな活躍を遂げました。



京料理 雪月花

しっとりとした深緑に覆われ、落ち着いた町並みを見せる下木屋町。そこに和の趣きを残しつつも、モダンな造りのお店が姿を見せます。京都の町が祇園祭でにぎわう頃、鱧のおいしい季節がやってきます。こちらの床でいただけるのは、素材にこだわった新鮮な鱧料理と器など、そのあしらいに定評のある鱧づくしの会席。リーズナブルにいただけるとあって、床初心者にも安心。また足を伸ばせる掘り炬燵式の床は外国の方でもゆっくりとお食事いただけます。店内には鴨川や高瀬川を眺められる個室もあり、常連さんも多いとか。

床DATA
 昼 2,200円～
 夜 6,800円～
 要予約



モダンな雰囲気ゆつたりとした店内からは、下木屋町の風情ある街並を眺めることができる。



和モダンな空間でいただく
 普段使いの京会席



☎075-342-1777 MAP→下記参照
 京都市下京区木屋町通仏光寺下ル東側
 昼11:30～15:00(ラストオーダー14:00)
 夜17:30～23:00(ラストオーダー22:00)
 不定休 ※お昼の床は5月・9月のみ



足下から涼を感じる掘り炬燵式の床。



築150年、元お茶屋さんでいただく京風中華に舌つづみ



和中創作料理 味がさね

紅がら格子のお茶屋さんが両側に軒を連ねる京洛の花街、先斗町。歴史あるお茶屋さんの佇まいを見せるこちらのお店でいただけるのは、和・中折衷の会席料理。あっさりとした京風中華は年配の方や外国の方にも人気。またお座敷では京都っ子の定番、天下一品のラーメンもいただけるそう。床には掘り炬燵が切られており、鴨川からの風は夏日の憂いを忘れてしまうくらいに涼やかです。陽の落ちていく様を眺めながらいただくお料理は床ならではの風情を醸しだします。

☎075-256-1777 MAP→下記参照
 京都市中京区先斗町三条下ル二丁目若松町141-4
 昼12:00～15:00(14:00ラストオーダー)
 夜17:00～23:00(22:00ラストオーダー)
 月曜休み ※お昼の床は5月・9月のみ

床DATA
 昼 2,500円～
 夜 6,500円～
 要予約

